


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立青森第一高等養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で 記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input checked="" type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	作業日誌を付けよう（学習内容を確認し、目標を考えよう）		
	単元(題材)の目標	自己目標を設定し、作業後に振り返るとともに分かりやすく報告することができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1～3 年 8 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 清掃・農業を主たる活動内容とする作業班である。就労継続A型事業所、一般事業所に就労を目指す生徒が半数、就労継続B型事業所を目指す生徒が半数からなり、作業への意欲が高く、言葉での指示理解がおおむねできる生徒から構成されている。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 携帯型情報端末（i P a d）		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 スプレッドシート	アプリマーク	
	主な活用の用途 (✓又は■で 記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (□情報入手支援 □機器操作支援 □時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (□教科学習支援 □認知発達支援 □社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	紙媒体ではなく、携帯型情報端末を使用することで教師と生徒の双方向のやり取りがより効率的に行うことができること、写真等を用いた説明を即時に行うことができること、文字を書くことが苦手な生徒も日誌を作成しやすいくことなどが作業日誌に ICT を使用するメリットであると考え、使用した。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 作業日誌として活用している。携帯型情報端末を使用することで説明のイラストを撮影して貼り付けたり、ネットワークを通して教師のパソコンからそれぞれの生徒のタブレットにコメントを返したりでき、有効であった。また、清掃作業時には、担当場所の清掃前の状況を写真に撮り、清掃後、どのようになったか、自分の作業の状況を確認する等にも活用した。			